

近藤 優菜

○私はまだおさなかつたころ、両親とその友達
の大人の人といっしょに川に遊びに行きまし
た。そこではバーベキューや川遊びなどをし
てたくさん遊びました。私には弟がいて、弟も
いっしょに遊びました。私と弟のほかに父
の友人の一人の子どもの男の子とも遊びまし
た。大人は大人でバーベキューで楽しんでい

ました。

しばらくあそんでいるともう一人友人がき
ました。それも大きな大きなスイカをも
しばらくの間、私たちも両親たちもスイカをど
う食べようか考えていました。すると、
「じゃあスイカわりしちゃおうぜ。」
と言いだしました。みんな

「いいね。」

「さんせい。」

「やった。」

と言いつ合っていました。が父だけ、
「さやっか。めんどくさい」。

と言っていました。しかし、ほかの人がみんな
賛成だった。のでスイカわりになりました。

さあ、ここからが問題です。スイカわりをす
ることは決まっただけ。どかんじんのわるぼうが
ありません。みんなでさがしました。が、わりは
しくらいしか見つかりませんでした。なので、
けっさよく、だれかの意見で、大きな石でたたく
ことにしたのです。まあ、われたわけではないで言

つたら、われました。しかし、形はぐしやぐしや、
すなみたいたない。やりみたい。な物が入ってるし、
おまけに、大きさもばらばら。すると、
「がっはっはっは」。

と、スイカをわった人が大笑い。けっさよくそ
こはまるくおさまったのです。が、いちばん大き
いのを食べた人が、その日の夜からおなかがい
たく、2日も会社を休んだそうです。なんと、ス
イカを食べる前、川でいっりをおとしたそう。で
す。川には、気を付けた方がいいですね。